

# 【SP-5000、SP-2000端末の使用ガイド】

Proximaシリーズ・スピーカーケーブルSP-5000、SP-2000の端末は  
”4φバナナ互換・銅丸棒端末”という独自形状の端末を採用致しました。

パワーアンプ、スピーカーシステムには色々な形状のターミナルが使われていますが、  
市販の接続変換アダプターを使用しては弊社ケーブルの高音質を引き出せないため  
”出来るだけダイレクトに・・・”という願いからこのような方式を提案致しました。

以下の使用例を参考にして、是非”ダイレクト”でご使用下さい。  
高純度のストレスフリー銅棒で非常に柔らかく指先でも簡単に変形出来ます。  
大きく伸ばした後にバナナ形状に戻すのも全く問題ありません。  
但し、くれぐれもケガの無いよう慎重に作業を進めてください！



## 一般的な(4φ)ターミナルの場合

唯、差し込むだけです。  
緩めの際は指で少し抜けてやります。  
ケーブルが軽いため意外と抜けにくく、  
これで充分長期間使用に耐えます。



## ターミナルの孔が小さい場合

少し伸ばしてターミナルの孔に通して、  
ネジで締め付ける



## ターミナルの孔が大きい場合

そのままターミナルの孔に通して、  
ネジで締め付ける



## 孔の無いターミナルの場合

銅端末を1cm程伸ばし、フックのように  
引っかけてネジで締め付ける